

2024年10月6日付・下野新聞21面

水質改善役立ってコイ

那須どうぶつ王国に移送

旧足尾中の池のコイ130匹

廃校後住民世話 設備維持困難に



移送のため旧足尾中の池で行われたコイの捕獲作業

【日光】2022年3月で廃校となった旧足尾中にある池のコイ約130匹が9月30日、那須町の那須どうぶつ王国に移送された。廃校後は地元住民が餌を与えるなど愛されてきたコイたちだが、度重なる豪雨などの影響で、池に水を引くポンプやパイプの維持管理が困難になってきたことなどが理由という。「新天地」は、ビバーが生息する河川や湖を再現した施設。今後、水質改善の一翼を担うことになる。

(穴原功郎)

生徒数減少などにより足尾小に併設(足尾小中学校)された同校。池は1953年の創立から間もなく造られたという。コンクリート製の正八角形で、直径は約9㍎。約2㍎離れた溝の水を引いている。

豊会長(76)らによると、8月26日の豪雨でパイプが目詰まりを起こして水が流れなくなり、背びれが水面から見えない状態に。校務員を務めていた滝澤常男さん(75)らの努力もあり、池は通常の姿を取り戻した。しかし今後もうしたト

ラブルが想定されるため、同自治会と施設を管理する市教委が協議。那須どうぶつ王国が水質改善に役立つ魚を探していたこともあり、コイの移送を決めた。移送には、淡水魚移送のノウハウと装備を持つながわ水遊園(大田原市)が協力。スタッフ2人が、1㍎の活魚タンクと酸素の入ったポンベを持ち込んだ。水深約70㍎の状態から水を抜き、網を手にした市職員ら5人がかりで念入りにコイを探した。大きいもので50㍎ほどあったほか、稚魚も多く捕獲された。どうぶつ王国の半谷秀紀

さん(53)は「ビバーの会長も「高齢化もあり、コイを守るにはそれが一番だ。藻を食べてもらうなど、ろうという結論になった。して水質改善に一役買って長生きしてくれればいいでもらえれば」と期待。藤井

設 問

【1】次の記事中の漢字の読みをひらがなで書きましょう。

- ①廃校 ②河川 ③豪雨 ④淡水 ⑤稚魚 ⑥藻

【2】那須どうぶつ王国がコイを受け入れたのは何のためですか。

【3】地域住民がコイの移送を決めたのはなぜですか。

【4】記事の内容と合う選択肢を選びましょう。

- ア コイはながわ水遊園に移送された。
イ 池にコイの稚魚は見当たらなかった。
ウ 日光市の職員も作業に加わった。
エ ながわ水遊園の職員は海水魚の移送作業に精通している。